

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

I 正統カリフ時代・ウマイヤ朝・アッバース朝におけるウンマの在り方 (配点 20点)

- ※ 6行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 15行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上IIIも同)

<1 正統カリフ時代>

- ① ムハンマド死後は正統カリフ時代であること…1点
- ② カリフはムハンマドの後継者であること…1点
- ③ カリフは選挙により選出されたこと…1点
- ④ ジハード(聖戦)が行われたこと…1点
- ⑤ 第4代カリフが暗殺されたこと…1点
- ⑥ ⑤がアリーであるということ…1点
- ⑦ ムアーウィヤが台頭したこと…1点
- ⑧ ⑦はウマイヤ家の人物であったこと…1点
- ※ 「⑦がウマイヤ朝を開いた」なども可
- ⑨ ⑦がカリフ位を世襲したこと…1点

<2 ウマイヤ朝時代>

- ① ウマイヤ朝でアラブ人が特権を有していたこと…1点
- ② 異民族は改宗しても税負担を強要されたこと…1点
- ※ 「異民族はジズヤ(人頭税)とハラージュ(地租)を払った」なども可
- ③ 異民族改宗者をマワーリーということ…1点
- ④ ウマイヤ朝をアラブ帝国ということ…1点
- ⑤ スンナ派ができたこと…1点
- ⑥ ⑤は共同体の統一を重視すること…1点
- ※ 「スンナ(ムハンマドの言行)に従うことを重視する」なども可
- ⑦ シーア派ができたこと…1点
- ⑧ ⑦はアリーの子孫のみを正統なカリフであると主張したこと…1点
- ⑨ シーア派とスンナ派が対立(ウンマが分裂)したこと…1点

<3 アッバース朝時代>

- ① マワーリーがウマイヤ朝に不満を持ったこと…1点
- ② シーア派がウマイヤ朝に不満を持ったこと…1点
- ③ ①や②がアッバース家を支持したこと…1点

- ④ すべてのムスリムへの税負担が平等となったこと…1点
- ⑤ 軍人・官僚の登用においても平等となったこと…1点
- ⑥ 民族間の差別が解消したこと…1点
 - ※「ムスリムの平等が確立した」なども可
- ⑦ イスラーム帝国が出現したこと…1点
- ⑧ ⑦はイスラーム法に基づいて統治されたこと…1点

<4 論理構成点> =上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし。IIIも同)

- ① <1>～<3>がバランスよく書けていること…1点
- ② 正統カリフ時代=カリフ選挙制→ウマイヤ朝=アラブ帝国→アッバース朝=イスラーム帝国の流れが明記されていること…1点

II A 魏晋南北朝時代の社会・政治・文化 B 世界史における台湾 (配点 30点)

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容 (以上IVも同)

A

- a 武帝 不可 (※即位前についての問題のため)
- (2) 九品中正法 可

B

- f 岩里政男 不可 (※日本統治後の出来事のため)

(13) 1点満点

- ① 倭寇の活動抑制 (国家による貿易統制) のため、海外渡航や民間貿易を禁止したこと…1点
- (20) アジア NIES など 不可

III 中世キリスト教会の成立 (配点 20点)

<1 キリスト教の国教化とローマ教会の発展>

- ① テオドシウス帝によりキリスト教が国教となったこと…1点
- ② 教会組織が成立したこと…1点
- ③ キリスト教会の中で首位権が主張されたこと…1点
- ④ ③はローマ教会が主張したこと…1点
- ⑤ ローマ教会がコンスタンティノープル教会と首位権を争ったこと…1点
- ⑥ ローマ教会の司教が教皇を称したこと…1点
- ⑦ グレゴリウス1世が教皇の権威を高めたこと…1点
- ⑧ グレゴリウス1世の登場が西ローマ帝国滅亡後であること…1点
- ⑨ グレゴリウス1世がゲルマンへの布教を進めたこと…1点

<2 ローマ教会とビザンツ帝国の対立>

- ① 聖像禁止令が発布されたこと…1点
- ② ①はビザンツ（東ローマ）皇帝が出したこと…1点
- ③ ②の皇帝がレオン3世であったこと…1点
- ④ 聖像禁止令にローマ教会が反対したこと…1点
- ⑤ 教皇はゲルマンの布教のために聖像を必要としていたこと…1点
- ⑥ 教皇が新たな政治的保護者を必要としたこと…1点
- ⑦ 教皇がフランク国王（王国）に政治的保護を求めたこと…1点

<3 カール戴冠と西ヨーロッパ中世世界の成立>

- ① 教皇が戴冠した（ローマ皇帝の帝冠を与えた）こと…1点
- ② ②を受けたのはカール大帝（シャルルマーニュ）であったこと…1点
- ③ ①はレオ3世が行ったこと…1点
- ④ ①により教皇権と皇帝権が結合したこと…1点
- ⑤ ①により西ヨーロッパ中世世界が誕生したこと…1点

<4 東西教会の分裂と叙任権闘争>

- ① 11世紀に東西教会が分裂したこと…1点
※「東西教会がお互いに破門しあった」なども可
- ② 教皇グレゴリウス7世が教皇権の強化を図ったこと…1点
- ③ 教皇と皇帝が叙任権をめぐり対立したこと…1点
- ④ カノッサの屈辱（カノッサ事件）が起こったこと…1点
- ⑤ ④で皇帝が教皇に屈服したこと…1点

<5 論理構成点>

- ① <1><2>を中心に<1>から<4>がバランスよく書けていること…1点
- ② ローマ教会の発展→聖像禁止令をめぐる対立→カール戴冠→叙任権闘争の流れが明記されていること…1点

IV A ポーランド近現代史 B ユダヤ人の歴史（配点 30点）

A

- (5) ティルジットのみ 不可
- (6) 2点満点
 - ① ロシア皇帝（神聖同盟）の唱えるキリスト教精神はギリシア正教のものであったこと…1点
 - ② カトリックの教義に合致しなかったこと…1点
- (7) フレデリック＝ショパン 可
- (8) グダンスク 不可
- (11) 1点満点
 - ① 資本主義国（西側）と社会主義国（東側）の平和共存…1点

B

(14) 1点満点

① 聖地（イエルサレム）奪回に成功した（イエルサレム王国を建設した）こと…1点

(18) (ア) エミール＝ゾラ 可

(イ) ファショダのみ 不可

(19) シオニズム運動 可 シオンのみ 不可

(20) (ア) ロスチャイルド家 可

(21) アルベルト＝アインシュタイン 可

(22) オフィシエンチム 可

以上